

長江に消えた母

野夫 著／佐々木猛・木田章義・王小林 訳

《台北国際ブックフェア大賞「年間最優秀書籍」受賞》

激動の時代に翻弄された名もなき人々への挽歌——20世紀の中国を
生きた家族や友人の生と死を、静謐かつ情感豊かな筆致で描き、
台湾・中国・香港で熱烈な支持を集めた放浪の作家・野夫。
その代表作『江上の母親』待望の日本初出版！

(2009年 北京当代漢語研究所「当代漢語貢獻賞」受賞
2010年 台北国際ブックフェア大賞「年間最優秀書籍」受賞
2011年 独立中文ペンクラブ「自由著作賞」受賞
2012年 中国在場主義「中国在場主義散文賞」受賞
2025年 中国民間の帰園雅集「年間小説賞」受賞)

台湾での出版直後から「海峡の兩岸を揺るがす本物の声」として、
熱狂的な評価を獲得。各国で翻訳され、世界中の読者の心を揺さ
ぶり続ける散文集。



目次

この世の挽歌 — 日本語版自序
この人生にとどまり、松明を新しい薪に伝える — 序に代えて

I 長江に消えた母 — 母の失踪十年を祭る
II 地主の悲劇 — 土地改革と一家崩壊の年代記
III 墓の灯 — 祖母の思い出
IV 組織に引き裂かれた運命 — 大伯の革命と愛
V 斜陽の世に生を享けて — 幺叔の物語
VI 別れの夢は日に遠し — 亡き友李如波を悼む

VII 畸人劉鎮西
VIII 革命時代のロマン
IX 刑場に引き立てられた青春
X ある料理人の話 — 掌瓢の黎錦
故郷・故人・故事 — 跋に代えて
自撰年譜
解説 野夫と江湖文学 (王小林)

※6月下旬～7月上旬
朝日新聞と日経新聞に
広告掲載の予定あり

著者プロフィール

野夫 (やふ)

1962年に中国湖北省利川県で生まれる。本名は鄭世平。武漢大学卒業後、公安部門に勤務したが、天安門事件を機に辞職。出版社経営などを経て、自由作家、詩人、ジャーナリストとして活躍。台北国際ブックフェア大賞など、複数の文学賞を受賞しており、海外でも高く評価されている。

訳者プロフィール

佐々木猛 (ささき・たけし)

1948年に滋賀県栗東市で生まれる。元大阪大学教授。

木田章義 (きだ・あきよし)

1950年に大阪府大阪市で生まれる。京都大学名誉教授。

王小林 (おう・しょうりん)

1963年に中国陝西省西安市で生まれる。東西哲学研究所代表。

ご注文申込書

●取次店・書店名

●注文数

●発行

〒525-0067 滋賀県草津市新浜町 8-13

さいはて社

TEL: 050-3561-7453

https://saihatesha.com

野夫 著

佐々木猛・木田章義・王小林 訳／早川宏美 装幀・装画

長江に消えた母

四六判／上製／総476頁 定価4,000円＋税

ISBN 978-4-9912486-9-6 C0097 ¥4000E

冊

●全国の書店でお求めになれます。書店様へ、ご注文はJRCまで(FAX: 03-3294-2177)